

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国平均をやや下回っています。特に「情報の扱い方についての事項」・「書くこと」については、正答率が低く、情報と情報の関係性を読み取ったり、それに基づく文章の構成について理解したりすることについて課題が見られます。一方で「漢字の使用と話や文章の種類の理解」に関しては、全国平均正答率と同程度になっています。
- ・算数の平均正答率は全国平均とほぼ同程度です。小数と分数の仕組みについての理解に課題が見られる一方で、「図形」・「測定」についての出題に対しては、学力に一定の定着が見られます。立方体の体積を求めたり、条件に合う時間を求めたりする出題に対しては、正答率が全国平均よりも高くなっています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「学校での悩みについて、親や家族とどのくらい話しますか」・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか」・「家にどのくらいの本がありますか」・「パソコンやタブレットなどで文章を作成すること、プレゼンテーションすることが出来ますか」・「算数の授業で学習したことは、将来役に立つと思いますか」・「英語の勉強は好きですか」という6つの項目が、全国平均に比べて高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「普段、SNSや動画視聴をどのくらいしていますか」という項目で、使用時間が全国平均に比べて長い、という傾向が見られます。
「学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という項目で全国平均に比べ、勉強時間が短い、という傾向が見られます。
「1日当たりどのくらい読書をしますか」・「図書館にどのくらい行きますか」という項目が全国平均より低い数値を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・よい傾向を維持するために、子どもたち自身が学級の課題に対しての解決策を考え、取り組みができるよう、学級活動の時間を大切に、互いに認め合える集団をつくっていきます。
- ・朝の活動や国語の時間において、読書をする機会を設け、子どもたちが本に親しむ時間が長くなるようにします。
- ・宿題等を通して、授業で習った内容を復習し、基礎基本の定着を図るとともに、言葉の意味や、四則計算の意味などを理解できるようにします。
- ・授業において、ペア学習や班学習・ICT機器の活用などの学ぶ場を増やし、様々な方法で学ぶことの楽しさを感じる授業の工夫をしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・年度当初に配布しました「家庭学習の手引き」を参考にいただき、今後も引き続き、子どもたちが自ら学習に取り組めるように、励ましの声を掛けてあげてください。
- ・スマートフォンやタブレットに関するルールを決めたり、使い方を見直したりするなどして、学習以外の使用が長時間にならないようご指導ください。
- ・家読への取り組みや地域の図書館等の利用など、親子で本に親しめる機会を増やしてください。